

村の出来事

村内の出来事、話題をお届けします

や~め~て~。



4 | 26 ~ 27

毎年行われている狂犬病予防の注射。
お散歩気分です取りも軽やかに尻尾ふりふり、さっそうと歩いてくる可愛いワンコちゃんたち。
しかし、歩くその先にはいつもの獣医が…。獣医を見るや否や、回れ右!!
まだ狂犬病予防注射を終えていない方は接種をお願いします。

働くものを中心とする福祉型社会と
自由で平和な世界を作ろう!

4 | 28

第82回統一メーデー



労働者の祭典、第82回統一メーデー・占冠集会所が開催されました。当日はあいにくの空模様で、会場をコミュニケーションプラザに移しての集会となりました。
労働者を取り巻く雇用や生活不安などの解消、特に3月の大震災により壊滅的な被害を受けた住民の生活再建・復興を声高らかに叫び、村内労働者間の交流を深めていきました。

きれいになりました。

5 | 12



5月12日、占冠村商工会青年部が村内の清掃活動を行いました。
青年部員は観光客や村内の住民の皆さんが気持ちよく施設を利用していただけるように、道の駅周辺や農村公園、JR占冠駅周辺のゴミ拾いを行いました。
1時間ほどかけて拾い集めたゴミは袋いっぱい。結構あるもんだね…



ご寄贈くださいました。

トマムテレビ共同受信施設組合(夏井忠之組合長)から、災害時や地域の活動などで利用していただきたいと、地デジ対応のテレビ2台をご寄贈いただきました。
テレビはトマムコミュニケーションセンターで利用します。ありがとうございます。

被災地支援 派遣報告

3月の大震災の被災地の緊急援助救援業務に占冠村から2名が赴き、それぞれの業務を行ってききました。

お二人から現地の様子や行ってきた業務について報告をいただきました。

東日本大震災に伴う緊急 消防援助隊派遣

占冠支署 消防司令補

森田秀紀 派遣

平成23年4月13日から19日までの7日間、緊急消防援助隊第十次派遣部隊（北海道23消防本部・総員87名）の一員として宮城県石巻市に派遣されました。

拠点は石巻市総合運動公園内にエアートントを設営し、日中は捜索活動を新潟県の緊急消防援助隊・自衛隊・警察と合同で実施し、夜間は火災出動待機でした。

捜索活動では、地元住民の



強い要望もあり、大川小学校周辺を重点的に実施しました。大川小学校周辺は海から5〜6km離れている集落でしたが、津波で小学校を残し全ての建物が倒壊していました。周辺には、がれきや水没箇所があり手作業でのがれき撤去およびぬかるみの中での捜索活動は難航しました。

派遣期間中に行方不明者の発見には至りませんでした。が、今回緊急消防援助隊で経験したことを占冠村の防災に生かしていきたいと思

東北地方太平洋沖地震被災 救援業務派遣

占冠村社会福祉協議会

介護支援専門員

満永大樹 派遣

平成23年4月22日から27日までの6日間、北海道社会福祉協議会による被災地救援業務の一員（北海道から5名派遣）として、岩手県宮古市に行ってきました。

主となる業務は災害ボランティアセンターの運営であり、宮古市災害ボランティアセンターの運営体制は、簡略すると次のようになります。



ボランティア活動班

ボランティアの受付・相談・対応・調整、用具資材の準備、情報発信など

ニーズ調査班

ボランティアニーズの発掘、事前調査、相談、調整など

マッチング班

登録ボランティアとニーズとの受給調整など

田老地区支援

田老地区災害ボランティアセンター運営支援

宮古市社協では、震災直後に災害ボランティアセンターを立ち上げており、3月13

日から4月24日までの実績として、654件、延べ2,950名のボランティアが活動していました。

被災地・被災者と言われていた現場ですが、もともとそこで暮らしていた住民の力はとても大きなものでした。みんな明るく、笑顔で、復興に向けて進んでいます。現地で活動し、その空気を肌で感じてきた一人として、この現状を少しでも多くの方に伝え、ここ占冠からもまた違った形で支援を行って行ければと思います。

消防占冠支署の森田さんには、行ってきた業務内容から、お話を聞くことが許される状況ではなかったのですが、ご快諾をいただきご寄稿くださいました。ありがとうございます。

東日本大震災支援 についてお知らせ

占冠村は災害見舞金として300万円を日本赤十字社を通じお送りしましたのでお知らせします。